

ステレオヘッドセット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DR-260USB



3 2 4 9 6 7 8 0 5 * (1)

©2003 Sony Corporation Printed in China

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- パソコンの電源を切る
- 専用USB接続ケーブルをパソコンから抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する



△警告 下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに専用USB接続ケーブルをパソコンと本機から抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転中は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。



分解しない

感電の原因となることがあります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



△注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



禁止

かゆみなど違和感があつたら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して、医師またはお買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Pentium は、Intel Corporation の登録商標または商標です。

本書では Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional を Windows XP と記載しています。

本書では Microsoft® Windows® 2000 Professional を Windows 2000 と記載しています。

本書では Microsoft® Windows® Millennium Edition を Windows Me と記載しています。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

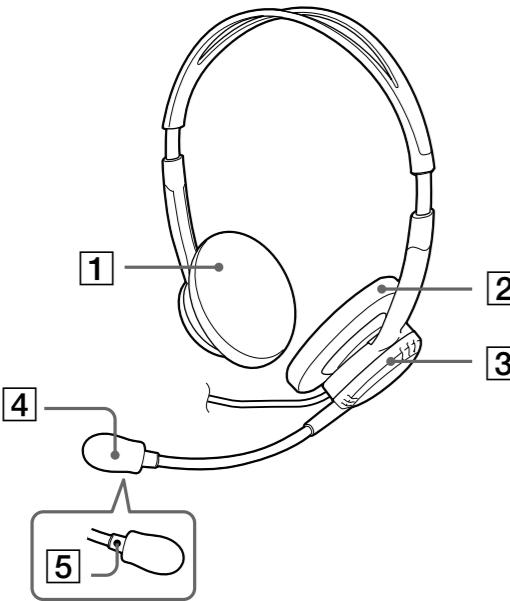
△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

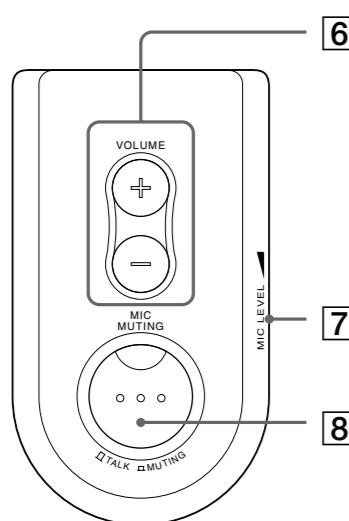
この表示

各部のなまえ

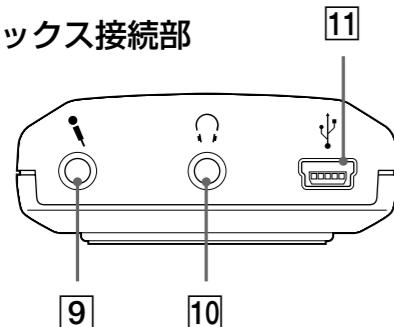
ヘッドセット DR-260DP



USBオーディオボックス UAB-260



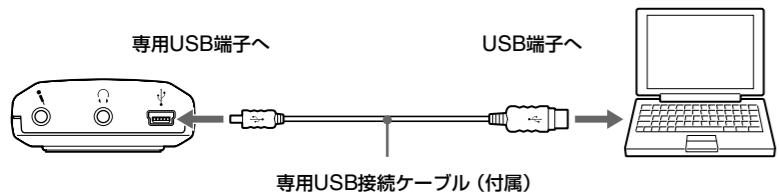
USBオーディオボックス接続部



- | | |
|---------------------------|---------------------------------------------------------|
| ① イヤーパッド(Right/右) | ⑦ MIC LEVEL つまみ |
| ② イヤーパッド(Left/左) | マイク入力レベルを調節します。 |
| ③ マイク位置調節ダイヤル | ⑧ MIC MUTING ボタン |
| ダイヤルを回転させながら、マイク位置を調節します。 | △ TALK : マイク入力はミュートされません。 △ MUTING : マイク入力はミュートされます。 |
| ④ ウィンドスクリーン付マイクロホン | ⑨ ▲ マイク端子 (プラグインパワー対応) |
| ⑤ ○マーク | ⑩ ▽ ヘッドホン端子 |
| ⑥ VOLUME +/−ボタン(ヘッドホン用) | ⑪ ♪ 専用USB端子 |

準備1：接続する

パソコンと本機のUSBオーディオボックスを付属の専用USB接続ケーブルで接続します。



ご注意

- 本機はUSB(従来のUSB1.1)をサポートしています。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属の専用USB接続ケーブルを使って接続してください。

準備2：USBドライバをインストールする

お使いのパソコンのOSが、Windows 98SE、ME、2000、XPの場合、USBドライバはOSに含まれており、本機を初めてUSB端子に接続したときに、USBドライバがインストールされます。パソコンの画面にしたがってインストールしてください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
異なるUSBポートに本機を初めて接続した場合は、USBドライバのインストールが必要な場合があります。

Windows 98SEの場合

本機をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示され、インストールが自動的に開始されます。USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。パソコンの画面の指示にしたがって、各USBドライバをインストールしてください。なお、インストールの際、Windows 98SE CD-ROMが必要になる場合があります。

例として、USB互換デバイスのインストール手順を説明します。USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスのインストールも下記の手順で行ってください。

- 「次の新しいドライバを検索しています」と書かれたウィンドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示され、「次へ」をクリックする。
- なお、Windows 98SE CD-ROMが必要な場合は、CD-ROMを挿入し、「CD-ROM ドライバ」もチェックしてください。
- 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と書かれたウィンドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「USB互換デバイス 新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

Windows Meの場合

本機をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示され、インストールが自動的に始まります。USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。パソコンの画面の指示にしたがって、各USBドライバをインストールしてください。

USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイスは自動的にインストールされます。USBオーディオデバイスのみ、下記の手順でインストールしてください。

- 「次の新しいハードウェアが見つかりました。」と書かれたウィンドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、さらに「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする。USBオーディオデバイスがインストールされます。
- 「USBオーディオデバイス 新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

Windows 2000/Windows XPの場合

本機をパソコンに接続すると、自動的にUSB複合デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。

準備3：音楽CD再生の設定をする

本機にて音楽CDを聴くためには、お手持ちのパソコンのCD-ROMドライブで、デジタル音楽CDを使用可能にする設定が必要です。

お使いのパソコンのOSを確認して、下記の手順にしたがって「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックしてください。

Windows 98SE

スタートメニュー→設定→コントロールパネル→マルチメディア→音楽CD

Windows Me

スタートメニュー→設定→コントロールパネル→システム→デバイスマネージャ→CD-ROMをダブルクリックして、音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

Windows 2000

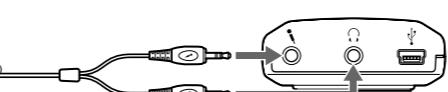
スタートメニュー→設定→コントロールパネル→サウンドとマルチメディア→ハードウェア→音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

Windows XP

スタートメニュー→コントロールパネル→サウンド、音声、およびオーディオデバイス→サウンドとオーディオデバイス→ハードウェア→音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

使いかた

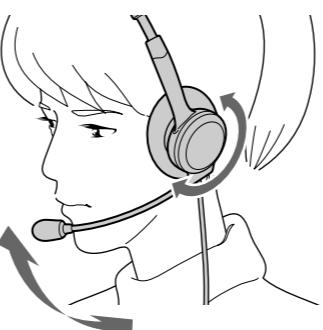
- ヘッドホン端子にヘッドホンプラグ(黒)を接続し、マイク端子にマイクプラグ(ピンク)を接続する。



- 印を右耳に、印を左耳にして、ヘッドホンを装着する。



- マイクロホンの○マーク側が口元にくるように、マイク位置調節ダイヤルを回して、位置を調節する。



マイク入力レベルの確認

OSに付属しているソフトウェア「サウンドレコーダー」を使って録音を行い、マイク入力レベルの確認をしてください。

マイク入力レベルが大き過ぎる場合や、小さ過ぎる場合は、USBオーディオボックスのMIC LEVELつまみで調節してください。

Windows 98SE/Me/2000

スタートメニュー→プログラム→アクセサリ→エンターテイメント→サウンドレコーダー

Windows XP

スタートメニュー→すべてのプログラム→アクセサリ→エンターテイメント→サウンドレコーダー

ご注意

- 本機のマイク入力は、オーディオ再生デバイスに対応していません(サイドトーン未対応)。
- 本機のマイク入力は、オーディオ録音デバイスの音量調節、ミュートに対応していません。USBオーディオボックスのMIC LEVELつまみ、MIC MUTINGボタンをご使用ください。
- お使いのソフトウェアによっては、設定が必要な場合があります。お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご確認ください。